

新世界一级阅读理解问题展予(2) PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/289/2021_2022__E6_96_B0_E4_B8_96_E7_95_8C_E4_c105_289816.htm やってみよう - 2

学生代にはが有り余ってどう暇をうぶそうかとむこともあるでしょうから、は有り余っていると思う人もいるかもしれません。でも人生80年とすると、一生は70万しかないということになります。天地悠々の流れの中で、この世に生を受けてからの70万というのは、ほんの一瞬のことでしょう。その限られた70万を使ってどういう人生をまっとうするかということ、これは私たち一人一人にとって大です。私たちは、この70万の使い方をめぐって、人性いかに生きべきかとむのです。なぜむのでしょうか。それは私たちに限の生命が与えられていないからです。もし私たちが永の青春をしむことができるのであれば、人生は何度でもやり直しがきますので、いかに生きべきかといったことはもんだいにもならないでしょう。思い通り好きなように生きて、えればやり直せばよいということになります。しかし、(1)。(林敏彦『ハト&マインド学入』による)い(1)には、次のどの文が入るか。1、には、思い通り好きなように生きるだけのお金を、もが持っているわけではありません2、には人は病になったり、事故で早く死んでしまうこともあるわけです。短い人生を自由に生きたいのは当然です3、にはは限られていますの、一度しかない人生、大切に考えなければ、ということになるわけです。4、にはやり直すことができず、失ばかりくのが多

くの人にとっての人生だと言えるでしょう。1「してもわからない」ということを大学で痛感した例があります。イギリスのBBC放送が制作した、ある夫の妊娠から出までをに追ったドキュメンタリ番を、北里大学学部の学生にせたの事です。学部とういのは、女子が6割と、女子のほうが多い。そういうで、この番の感想を学生に求めた果が、非常に面白かった。男子学生と女子学生とで、はっきりとなる反が出たのです。ビデオをた女子学生のほとんど「大勉になりました。新しいが山ありました」という感想でした。一方、それにして、男子学生は皆一に「こんなことは既に保健の授で知っているようなことばかりだ」という答え。同じものををても正反といてもよいくらいのいが出てきたのです。これは一体どういうことなのでしょうか。同じ大学学部ですから、少なくとも偏差的な知的レベルに男女差はい。だとしたら、どこからこのいが生じるのか。その答えは、与えられた情にする姿のだ、ということです。要するに、男というものは「出」ということについて感を持ちたくない。だから同じビデオをても、自分が知りたくないことには(1)ということです。つまり、自分が知りたくないことについては自主的に情を遮断してしまっている。ここに壁が存在しています。これも一の「バカの壁」です。(老孟司『バカの壁』新潮による)い(1)には、次のどの文が入るか。1、女子のような感ができなかった、むしろ退屈なビデオだったと思った2、女子のようなができなかった、むしろ的にをしようとしなかった3、女子のような勉はできなかった、むしろ男子だけで授をいてい

るほうがいい4、女子のような感はできなかつた、むしろ出だからと真にしていなかつた二十数年の、音沙汰のなかつた知り合いが、突然、をかけて来たりすると、一瞬、私は身える。そのが、に、かしいからとか、励ましてあげたいからという心しいさによってかけられたのではないことが解ってしまうからだ。あるは、私に出来るもない仕事の依であつたり、またあるは、何かの会を足させるために名前をしてくれという申し出であつたりする。そのたびに、私は困惑する。私は十二年、小をいて生を立ててる。私に出来るのは、原稿用に字をきることだけだが、それは、あるの人々には解を与えている。く人はも出来ると思つているのか、演などをんだりする。私の小にしか意味を持たない名前が、有活用できると思う人もいるのを知ると、ずかしさのあまりにがくなつて来る。そういう人々は、たいてい、御活、していますよ。と云うことになつてゐる。つたつて、私の本の表でもるのだろうか。本当にそれをえたいのなら、十二年、を置くこともない。と、思つてゐると、の用件を切り出す。やっぱりね、とこちらが思つてゐるのにはがつかないようだ。しかし、こういう解りやすい理由でをかけてくる人々には、こちらも解りやすいの仕がある。

(山田美『4U ヨンユ』による)い「こういう解りやすい理由でをかけてくる人々には、こちらも解りやすいの仕がある。」とあるが、どのようにするのか。1、名前をしてあげる 2、演を引き受ける 3、解りやすく返事をする 4、まれたことを断る 3少年がその男と出会つたのは春の暖かい日だつた。都会に住む少年は、待ちかねた春休みの最初の

日、仲のいい二人の友とダム湖におりにやってきたのだ。そのダム湖には大きなブラックバスと、ブルギルという力のい外国のがいた。少年たちは期待に胸をふくらませ、静かな湖面にい竿(さお)を振った。その、男が湖からやってきたのだ。男はいつものように、犬をカヌにせて、湖をわたってきた。サムライのような口(くち)髭(ひげ)をはやし、カヌの上で背中をぴんとのばして、くから少年たちの竿の先を少し眺めていた。「どうだ。れるか？」やがて男が言った。「まだだめだ。はじめたばかりだから……」「一回りしてくる。そのもし何かかれていたら、もっといいポイントを教えてあげよう」男はなんだか少し不思議なことを言って湖のに消えていった。男が一回りしてくるに、少年たちは二匹のブラックバスをった。小形だったが、いかにも肉食らしい猛(どうもう)な引きだった。少年たちが二匹の物をらしげにせたので、男は嬉しそうに笑った。「そうか。君たちはここにやってくる大人のりたちよりも腕がいいぞ。そこはこのあたりで一番つれないところなんだ。それじゃあもっと山れるところへ案内してやろう。この船にのりな」男のっているカナディアンカヌは大人が五人らくにのれるものだった。ともに座っている犬が立ち上がり「うっ」とひくい声で(うな)った。「しずかにしてろ」男が言った。犬はまた腹(はら)(ば)いにすわり、って用心深く少年たちをつめた。「この犬は大丈夫だ。あとでったブラックバスを一匹プレゼントしてくれれば大の仲良しになれるよ。」少年たちは互いにを合わせ、それから(1)。(『少年の夏』新潮文による)い少年たちはどうするか。

(1) に入る文をべ。 1、 ったブラックバスを犬にやった
2、 犬の代わりにカヌにりんだ 3、 こわごわとカヌにりん
だ 4、 を置いて逃げていってしまった 100Test 下载频道开通
， 各类考试题目直接下载。 详细请访问 www.100test.com